

# ほやほや

Fukui Red Cross Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.031



被災した町の様子



(上)赤十字医療チーム  
米立から2名が  
新保看護婦



医師等が行う医療提供



## ハイチ大地震医療チームに 新保比奈子看護婦を派遣

今年1月12日に発生したハイチ大地震の被災地に新保比奈子看護婦が日赤医療チーム第6班の一員として派遣されました。

6月18日から7月17日の1ヶ月間、ハイチの首都ポルトープランスから南西40kmのレオガンに開設した仮設診療所を中心に被災者の診療を行いました。

地震発生から半年以上が経過した現地では、地元の医療機関も少しずつ機能を回復し始めていますが、地震で井戸の水位が下がったり、汚染されるなどして使えなくなった水源が多く、安全な水の確保や衛生環境の改善が大きな課題となっています。

日赤医療チームは、避難民キャンプや周辺地域の衛生環境の改善のための活動にも取り組みました。

## + 福井赤十字病院

### 理念

人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

### 基本方針

- 患者様の権利と尊厳を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を重めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を担います。
- 災害時に積極的な医療救護や救護活動を行います。



福井赤十字病院 地域とともに



日本赤十字会  
JAPAN RED CROSS SOCIETY

# 歯からわかる体の健康 歯と糖尿病の 意外な関係



研究により積極的な歯周病治療が、  
糖尿病が改善させると分かりました。  
"ブドウ糖"がキーワードです



歯科・歯科口腔外科部長 山田和人

糖尿病とは、インスリンというホルモンが少なくなることで、血液中のブドウ糖の量が著しく上昇する病気です。約6人に1人程度が糖尿病または糖尿病予備軍と言われており、平成18年度のデータでは1870万人が糖尿病または糖尿病予備軍と言われています。また、一方で歯周病は程度の差はあるも25歳以上の約80%以上が罹患していると言われています。

近年この歯周病と糖尿病の間には密接な関係があることがわかってきました。以前から重度の糖尿病になると全身の免疫機能が低下することに加えて、歯と歯茎の隙間にブドウ糖が漏れ出ることによって細菌が増え、歯周病が悪化することが分かっています。つまり糖尿病が歯周病を悪化させるということです。歯周病になって多くの歯が抜けてしまうと、義歯を使用することになります。ただ義歯はどのようにうまく作成しても、自分の歯のようにうまく使いこなせません。つまり、硬いものは食べられず、柔らかい消化のよ

い食事になります。このような食べ物は、吸収が速いために食後の血糖の上昇も著しくなります。増むことと食事の種類で糖尿病のリスクが変わるということですが、

さらに最近の研究で、同程度の糖尿病患者さんで糖尿病の治療は変えず、積極的に歯周病治療を行って歯周病が改善したグループと特別な歯周病治療を行なわなかったグループでHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー...血糖レベルの判定に使われる)を比べたところ、歯周病が改善したグループではHbA1cの値が平均で0.6%、非常にうまくいった場合は1%程度改善したとの報告がありました。この一連の研究はさらに進み、歯周病が改善すると、TNFαというインスリン抵抗性を増す物質が減少して、インスリン量はおなじでも、インスリンに対する生体の反応がよくなることで、糖尿病が改善することが分かってきました。このTNFαという物質は歯周病のみならず、関節リウマチなどの炎症性疾患で増加し、脂肪

細胞が多くなる肥満でも増加し糖尿病を悪化させます。

歯周病は歯に接する歯茎から炎症を起こす病気です。小さな部分と思われるかもしれませんが、28本の歯すべてを取り巻く歯肉の面積はほぼその人の手のひらとほぼ同じ大きさになります。これほどの広さが歯垢の細菌にさらされて、絶えず炎症を起こしていると考えると、どれだけのTNFαが作られるのか...少し恐ろしくなりませんか。

歯周病の治療、歯と歯茎の健康維持にはハミガキが第一です。健康な歯と歯茎を守ることは糖尿病の予防や治療のためにも有利に働き、糖尿病患者ではHbA1cの値を下げる効果もあります。もし、HbA1cが1%減少したならば、眼や腎臓の病気に代表される糖尿病の合併症が35%減少し、糖尿病による死亡率が25%減少すると言われています。ぜひ、お近くの歯科医院で、専門家によるハミガキについてのトレーニングやアドバイスを受け、健康な歯をひいては健康な身体をお守りください。

# チームで取り組むがん診療

昨年の4月に、がん診療センターが設置されて1年が経過しました。その間に活動内容や活動範囲は拡大し、またスタッフも増員されています。今回は、福井赤十字病院がん診療センターの役割を紹介させていただきます。

当院でのがん診療は、あらゆるがんについて科学的根拠に基づいた診療ガイドラインに沿って診療を行っています。がんの診断はCTやMRI、超

音波検査、あるいはPET-CTといった最新鋭の医療機器を使用し、放射線科の専門医がその画像診断を行い、最終診断は病理専門医によって行われています。

## 診療科の垣根を越えた チーム医療の実践

がんの治療の3本柱は手術療法、放射線療法、化学療法（抗がん剤治療）です。がん治療では、がんの場所や病

態に合わせて、これらの治療法を組み合わせてがん治療を行っています。

手術療法では、患者さんの体に優しい治療である腹腔鏡（内視鏡）手術を積極的にを行っています。腹腔鏡手術は通常手術より時間がかかり技術も必要としますが、術後の患者さんの苦痛が少なく（低侵襲）、傷も小さいため痛みは少なく術後の安静期間を短くし、食事も早く再開でき、早く退院もできます。

放射線療法では、がんの中や近くに放射性物質を入れて、体の中から放射線をあてる前立腺がん密封小線源療法（ブラキセラピー）などのさまざまな放射線治療が、放射線治療専門医と放射線技師らにより計画的に行われています。



外科部長兼  
がん診療センター長  
廣瀬 由紀



福井赤十字病院がん診療センター



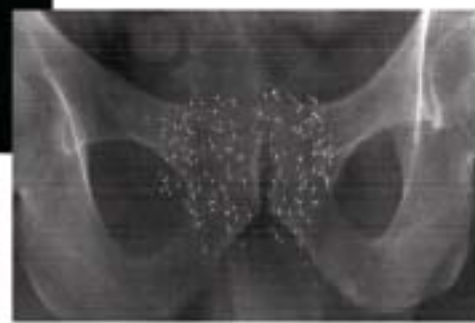
PET-CT装置



医師、薬剤師および看護師らチームで化学療法を行っています



ブラキセラピーとは、前立腺内に放射線を照射する小さなチタン製のシード線源を50~100個程度埋め込む治療法です





連携バスはがん診療における医療機関ごとの役割分担を定め、がん医療の質の保証と安全の確保をしています



がん相談窓口では、「がん」と向き合う患者さんとそのご家族の支援をいたします



「がん」に対する理解を深めていただくためにスマイル会(がんサポート教室)を開催しています。お気軽にご参加ください



がん診療センタースタッフ(一部)。がん診療センターは本館2階にありますので、お気軽にお立ち寄りください

化学療法は現在、多くの患者さんが外来で治療を受けていますが、各診療科の専門医、がん薬物療法認定薬剤師およびがん化学療法看護認定看護師らによる化学療法チームが共同で化学療法をおこなっています。化学療法の安全性を確保するために、化学療法の治療方法(レジメン)を確立することは非常に重要なポイントです。毎月、化学療法チームはこのレジメンの新規登録あるいは更新を行っています。

また、このほかに緩和医療がありません。緩和医療では医師、看護師、臨床心理士、社会福祉士らによる緩和医療チームがあり、がん治療の初期段階から、身体的苦痛、ストレスなどの精神

的苦痛・社会的苦痛の両面から、患者さんやご家族のがんによる苦痛を軽減する緩和医療を行っています。

このように、当院では医師、看護師、薬剤師、その他のコメディカルなどの多職種で構成されるチーム医療でがん治療にあたっています。

### がんの地域医療連携 クリニカルバスの作成

当院などのがん診療連携拠点病院での治療後に、かかりつけ医などの地元医療機関で安心してがん治療を継続してもらえるように、各がん(胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん、前立腺がん)の地域医療連携クリニカ

ルバスを作成しています。これはがん治療を受けるためのスケジュール表と言えるものです。がん診療センターは、福井赤十字病院の主治医とかがりつけ医との間を、むすぶ重要な任務を担っています。

### がんに関するあらゆる 相談をお受けします

がん診療センターの重要な役割として、がん患者さん、あるいはその家族の皆さんへの相談支援を積極的に受けています。開設以来ご相談に来られる方が増えています。患者さんからの相談に十分対応ができるように、4人のスタッフが国立がんセンターでの「相

談支援センター相談員研修」を修了して活動しています。福井赤十字病院の情報、あるいは近隣の施設の情報、またがん一般の情報も充実しつつあります。がんサポート教室についても、今後、更に多くの方々がご利用いただけることを望んでおります。

がん診療センターの責務には在宅医療の充実などを含めまだまだ多くのことがあります。スタッフ全員でよりよいがん診療のため努力していきます。

## 今年もしあわせの花、 スズランの押し花が届きました

入院患者様の一日も早い回復を願う全日空からのスズランの奇贈が今年も6月4日(金)に行われました。

当日は、全日空の客室乗務員の吉野藍さんが看護師らとともに産婦人科の病棟などを回り、入院患者さんへ全日空社員による手作りのスズランの押し花のしおりを直接、お渡ししていただきました。

先日、出産された患者さんからは

「幸せになれる花と聞き、とても嬉しい」と笑顔で喜ばれました。当院へのスズランの奇贈は今年で50回目です。今回も150枚のスズランの押し花のしおりと鉢植えをいただきました。全日空より奇贈された「スズランの押し花」1万6000枚は、当院の他に全国45カ所の赤十字病院の入院患者様に届けられました。



## 福井赤十字病院ボランティアが 今年で活動開始10周年を迎えました

青いエプロンがトレードマークの福井赤十字病院ボランティアは平成12年より活動を開始し、今年で10周年を迎えました。

ボランティア活動の開始当初は、病棟でのケアに使用する衛生材料作りのみでしたが、その後の10年間で、外来・入院患者さんの受診案内や介助、抗がん剤で脱毛された患者様へのタオル帽子作成、美容師さんによる散髪ボランティア、毎月開催しているコンサートなど病院全体に活動が広

がっています。

7月12日には、さらなる活動範囲の拡大や内容の充実を図るため、10周年記念式典を開催しました。式典では、発足当初から活動を続けられている7名に感謝状を贈呈し、また旅行介助ボランティア活動を行っている荒川勝さんの講演、二胡やハーブ＆フルーツの記念コンサートを行いました。病院に来院された際には、ボランティアに気軽に声をおかけください。

青いエプロンでの  
ボランティア活動の様子



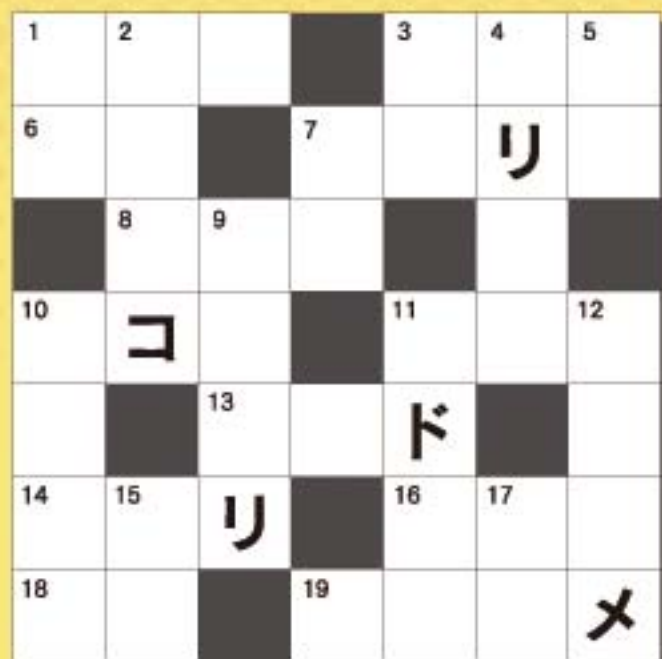
ボランティア式典の様子



# もっとクロス! 漢字パズル

チャレンジしてみましょう!

このクロスワードパズルは、どこか三カ所だけ漢字が入ります。その場所は文字数やタテ・ヨコの関係から推理してください。その他のマスはすべてカタカナです。最後にその漢字を三文字並べて、答えのことばを作ってください。



## ヨコのカギ

- ① 湯あがりに、また花火大会に来て行くのも風流です。
- ② 早口言葉で三回どうぞ「——生米生餅」。
- ③ 暑さが過ぎると、天高く——涼ゆる秋の到来です。
- ④ 他の物に移り換った寄り。
- ⑤ 子音に対して、現代日本語のアイエオの五つがそうです。
- ⑥ ——碎身とは、力の振り努力することです。
- ⑦ 顔の一部で、うごめかすのは得意なとき、ふくらますのは不満なときです。
- ⑧ 従来よりも大塚で横断の広い、——スクリーン映画館。
- ⑨ 松本清張の「点と線」は日本を代表する——小説です。
- ⑩ 物体に色を与える成分。
- ⑪ 南米ペルーの首都。
- ⑫ 今風に表現すると「イケメン」ということです。

## タテのカギ

- ① ——・良・可・不可。
- ② 山台名物の食品は雪の菓のような形をしています。
- ③ 飛んで火にいる——の虫とは、自ら落ちて危険にかかわること。
- ④ アフリカ発祥で、共鳴管をつけた大型の木琴。
- ⑤ ビールの原料のモルトです。
- ⑥ ——を天に任せてみます。
- ⑦ うそ——なく、正直にすべて話します。
- ⑧ 鉋削が苦手なので、——をオブラートに包んで飲みます。
- ⑨ 森井栄の「二十四の瞳」の舞台です。
- ⑩ 恋愛関係に入ったきっかけ。
- ⑪ 「LDK」のLです。
- ⑫ 水戸、尾張と共に徳川氏の御三家です。

栄養師  
おすすめ!

## 夏のレシピ 〈たこのサラダ〉

①たこは湯洗いし、そぎ切りにする。②ブロッコリーは小房に分け、塩茹でする。③トマトは種を取り、2cm角のさいのめ切りにする。④スナップエンドウは塩ゆでして、半分に切る。⑤レタスは食べやすくちぎる。⑥ドレッシングの材料をよく混ぜる。①～⑤を⑥で和えて、器に盛る。

タコには蛋白質の一種のタウリンが多く含まれています。その他にあさり、サザエ、ホタテ、いか、マグロなど魚介類に多く含まれています。タウリンには血圧を下げる作用、肝臓の機能を高める作用、コレステロールを下げる作用、抵抗力を高める作用などがあり、動脈硬化や心臓病の予防に効果があるといわれています。



材料(2人分) /  
たこ(ゆでたもの)120g、  
ブロッコリー1/2株、トマト  
1個、スナップエンドウ20g、  
レタス50g、塩少々  
【ドレッシング】オリーブオ  
イル 大さじ2 1/2、醤油大さ  
じ1、香油大さじ1、塩・コ  
ショウ少々、んにく1片

### ●1人分

エネルギー……227kcal  
たんぱく質……17g  
脂質……13.4g  
ビタミンB1……0.17mg  
ビタミンC……85mg  
炭水化物……10g  
食物繊維……4.9g  
カルシウム……82mg  
鉄……1.9mg  
塩分……1.4g

## 「接遇Goodカード」活動を展開中です。

～患者満足度向上委員会  
(接遇改善推進ワーキンググループ)

患者さんより職員の中で接遇の良かった点を「接遇Goodカード」として、個々に記入していただいております。皆さまから温かいお褒めの言葉を頂くことで、職員の仕事への自信や励みになり、病院全体の接遇向上に繋がります。記入用紙は外来の指定場所に2カ所(正面玄関入って左側、本館2階中央点検室前)、入院されている方には入院窓口にてお渡ししております。また、それぞれの病棟にも予備用紙が置いてありますので、接遇で良い点がありましたら記入をよろしくお願いいたします。



## 福井赤十字病院

〒918-8501  
福井県福井市月見2丁目4番1号  
TEL.0776-36-3630(代)  
FAX.0776-36-4133  
E-mail  
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp  
http://www.fukui-med.jrc.or.jp/  
広報に関するご意見、ご感想を  
お待ちしております。

ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報、できたて“ほやほや”の情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎四その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。